

川村鞠子氏（日日出身）が日本語ボランティアとして赴任

2017年2月より日本語・日本文化学類出身の川村鞠子氏が JICA 派遣の日本語教育ボランティアとして MJIT に赴任した。

MJIT では日本式工学教育のマレーシアの移植を目指していることから、学部1年生の2学期から2年生にかけて、**Japanese for Communication 1、2、3**の3科目6単位を履修が必須である。そのため、日本語教育のサポートとして2名の日本語教育ボランティアが JICA より派遣されており、2017年1月で退任した吉田真裕美氏の後任として、1月間の研修の後、MJIT に赴任した。もう一名のボランティアも2016年2月より日日出身の田中裕祐氏が赴任していることから、MJIT の日本語教育サポートボランティアは筑波大学の卒業生により行われることとなった。

MJIT では現地人の日本語教員のサポートの他、学生のリクエストにより補習授業や課外授業を行う。任期は2年の予定である。



KL オフィス前にて（左から田中裕祐さん、川村鞠子さん、岩本准教授（文責））